

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 4 - 6

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		西紋別地区環境衛生施設運営事業						
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係			
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長		
		氏名	渡辺孝司		氏名	内藤肇昭		
事業の概要	町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施し、各市町村(5市町村)が応分の組合運営分担金を支出する。					全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)		
						事業費	国・道支出金	千円
							地方債	千円
							その他	千円
							一般財源	148,398 千円
		事業費計	148,398 千円					
実施方法	直営		民間委託		その他 (一部事務組合)			
第 5 期 総合計画 (前期)			登載事業	非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~					
	基本施策	#	環境の保全					
	単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進					
	事務事業の種類		自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等		一般廃棄物処理基本計画・廃棄物処理法					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)		
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	雄武町負担額 (一般財源)	30,074 千円	29,824 千円	28,293 千円	29,500 千円	29,500 千円		
	合計	30,074 千円	29,824 千円	28,293 千円	29,500 千円	29,500 千円		

554

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

[誰、何が(対象)]	町内で発生するし尿。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
[抱える課題やニーズは]	町内で発生するし尿の適正処理。	し尿等処理量			
[どのような状態になることを目指したのか(意図)]	分担金支出による施設の安定運営。	指標(指標計算式/解説)	し尿等処理量(kℓ)	目標年度	平成21年度
				目標値	1,353 kℓ
				実績値	1,353 kℓ
				達成度	100.0 %
[その結果、どのような成果を実現したいか] 成果 = 目的	施設の運営維持・し尿の継続処理			目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
組合運営分担金の支出	一部事務組合にて広域し尿処理を行っており、応分の組合運営分担金を支出する。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町単独のし尿処理は困難なため、一部事務組合の広域的な処理は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	町内で発生するし尿は、すべて適切に処理されている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	町単独で行うより、広域的に処理することで、コストの削減が図られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	し尿の適正な処理は、全ての町民の快適で清潔な生活環境を守るものであり、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町内で発生する、し尿の適正処理は必要であり、町単独での処理が困難なことから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持		
町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的に実施することは、町民の快適で清潔な生活環境を創造するため、現状維持が適当である。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--